

2025年12月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2025年10月30日

上場会社名 京葉瓦斯株式会社 上場取引所 東

コード番号 9539 URL https://www.keiyogas.co.jp/

代 者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 江口 孝 表

(氏名) 坂本 章 TEL 047-325-2722 問合せ先責任者 (役職名) 経理部長

配当支払開始予定日

決算補足説明資料作成の有無 : 無 決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2025年12月期第3四半期の連結業績(2025年1月1日~2025年9月30日)

(1)連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高	5	営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2025年12月期第3四半期	89, 879	1. 5	4, 470	82. 0	4, 953	71. 1	3, 539	81. 2
2024年12月期第3四半期	88, 526	_	2, 456	_	2, 895	△40. 2	1, 953	△38. 3
())	7.55 a NV 445	0 404-				- 17 45	4 045	1 10 0-

(注) 包括利益 2025年12月期第3四半期 2,464百万円(△47.0%) 2024年12月期第3四半期 4,645百万円(△12.8%)

	1 株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円銭	円銭
2025年12月期第3四半期	110. 08	_
2024年12月期第3四半期	60. 75	_

- (注) 1. 第1四半期連結会計期間より表示方法の変更を行ったため、2024年12月期第3四半期の売上高及び営業利益について は当該表示方法の変更を反映した遡及適用後の数値を記載しており、対前年同四半期増減率は記載しておりません。
 - 2. 当社は、2025年1月1日付で普通株式1株につき3株の割合で株式分割を行っております。前連結会計年度の期首に 当該株式分割が行われたと仮定して、1株当たり四半期純利益を算定しております。

(2) 連結財政状態

(=) (=) (=)				
	総資産	純資産	自己資本比率	
	百万円	百万円	%	
2025年12月期第3四半期	163, 076	100, 524	59. 5	
2024年12月期	168, 250	98, 876	56. 8	

(参考) 自己資本 2025年12月期第3四半期 97,105百万円

2024年12月期 95,622百万円

2. 配当の状況

- · HD / / / / / / / / / / / / / / / /						
		年間配当金				
	第1四半期末	第1四半期末 第2四半期末 第3四半期末			合計	
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	
2024年12月期	_	30.00	_	35.00	65. 00	
2025年12月期	_	13. 00	_			
2025年12月期(予想)				13. 00	26. 00	

- (注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無
- (注)1. 当社は、2025年1月1日付で普通株式1株につき3株の割合で株式分割を行っております。2024年12月期については、 当該株式分割前の実際の配当金の額を記載しております。2025年12月期及び2025年12月期(予想)については、株式分 割後の内容を記載しております。
 - 2. 2025年12月期中間配当の内訳 普通配当11円 記念配当2円 2025年12月期期末配当の内訳 普通配当11円 記念配当2円

3. 2025年12月期の連結業績予想(2025年1月1日~2025年12月31日)

(06ままけ 対前期増減率)

							(70)	父小いみ、	<u> </u>	(/
	売上高		営業利:	益	経常利:	益	親会社株主 が する当期純	こ帰属 利益	1株当たり 当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円	銭
通期	116, 200	0.4	2 800	95 3	3 400	50 0	2 500	54 0	77	75

- (注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無
- (注) 1. 当社は、2025年1月1日付で普通株式1株につき3株の割合で株式分割を行っております。2025年12月期の連結業績 予想における1株当たり当期純利益については、当該株式分割の影響を考慮しております。
 - 2. 第1四半期連結会計期間より表示方法の変更を行ったため、売上高及び営業利益の対前期増減率については、当該変 更を反映した組替え後の前期数値を用いて算出しております。

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における連結範囲の重要な変更 : 無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有

② ①以外の会計方針の変更 : 無

③ 会計上の見積りの変更 : 無

④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

② 期末自己株式数

③ 期中平均株式数(四半期累計)

2025年12月期3Q	32, 805, 000株	2024年12月期	32, 805, 000株
2025年12月期3Q	650, 781株	2024年12月期	650, 763株
2025年12月期3Q	32, 154, 232株	2024年12月期3Q	32, 154, 490株

- (注) 当社は、2025年1月1日付で普通株式1株につき3株の割合で株式分割を行っております。前連結会計年度の期首に当該 株式分割が行われたと仮定して、期末発行済株式数、期末自己株式数及び期中平均株式数を算定しております。
 - ※ 添付される四半期連結財務諸表に対する公認会計士又は : 無 監査法人によるレビュー
 - ※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。なお、上記業績予想に関する事項は、添付資料 2 ページ「1.経営成績等の概況(3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1.	経営成績等の概況	. 2
	(1) 当四半期連結累計期間の経営成績の概況	. 2
	(2) 当四半期連結累計期間の財政状態の概況	. 2
	(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	. 2
2.	四半期連結財務諸表及び主な注記	. 3
	(1) 四半期連結貸借対照表	. 3
	(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	. 5
	四半期連結損益計算書	
	四半期連結包括利益計算書	. 6
	(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	. 7
	(会計方針の変更)	. 7
	(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	
	(セグメント情報等の注記)	. 8
	(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	. 9
	(継続企業の前提に関する注記)	
	(キャッシュ・フロー計算書に関する注記)	
	(表示方法の変更)	. 9

1. 経営成績等の概況

(1) 当四半期連結累計期間の経営成績の概況

当第3四半期連結累計期間(2025年1月1日~9月30日)のガス販売量は、家庭用につきましては、お客さま件数が増加した影響などにより前年同期に比べ1.2%増加しました。業務用につきましては、お客さま設備の稼働が前年同期と比べて増加したことなどにより0.7%増加しました。この結果、ガス販売量合計では、前年同期に比べ0.9%増加の514百万㎡となりました。

売上高につきましては、電力小売販売量の増加などにより、前年同期に比べ1.5%増加の898 億円となりました。売上原価につきましては、ガス事業における原料価格の下落や、電力調達コストの減少等による電力小売費用の減少などにより、前年同期に比べ1.3%減少の600 億円となりました。

この結果、営業利益は前年同期に比べ82.0%増加の44 億円、経常利益は71.1%増加の49 億円、親会社株主に帰属する四半期純利益は81.2%増加の35 億円となりました。

なお、従来、一部の不動産賃貸収入及び不動産賃貸費用については、「営業外収益」及び「供給販売費及び一般管理費」に含めて表示していましたが、第1四半期連結会計期間より「売上高」及び「売上原価」に表示することといたしました。この表示方法の変更を反映させるため、前第3四半期連結累計期間の不動産賃貸収入及び不動産賃貸費用についても「売上高」及び「売上原価」に組替えを行っております。

当社グループの業績は、ガス事業のウェイトが高く、売上高が冬季 $(1 \sim 3 \, \text{月})$ に多く計上されるため、業績に季節的変動があります。

[ガス販売実績] (単位:千㎡)

(中国:						
項目			前第3四半期 連結累計期間	当第3四半期 連結累計期間	増減	増減率(%)
家庭用			227, 835	230, 595	2, 760	1.2
ガ		商業用	91, 463	90, 678	△785	△0.9
ス	業務	工業用	149, 603	150, 529	925	0.6
販売	用用	その他用	40, 954	42, 752	1, 797	4. 4
量		計	282, 022	283, 959	1, 937	0.7
		合計	509, 857	514, 555	4, 698	0.9

(注) ガス販売量は45MJ(メガジュール)/㎡で表記しております。

「収支の状況」 (単位・百万円)

				(単位・日刀口)
項目	前第3四半期 連結累計期間	当第3四半期 連結累計期間	増減	増減率(%)
売上高	88, 526	89, 879	1, 352	1.5
売上原価	60, 833	60, 050	△782	△1.3
供給販売費及び 一般管理費	25, 237	25, 359	122	0.5
営業利益	2, 456	4, 470	2,013	82. 0
経常利益	2, 895	4, 953	2, 058	71. 1
親会社株主に帰属する 四半期純利益	1, 953	3, 539	1, 585	81. 2

(2) 当四半期連結累計期間の財政状態の概況

当第3四半期連結会計期間末における総資産は、現金及び預金が減少したことなどにより、前連結会計年度末に比べ51億円減少の1,630億円となりました。

純資産につきましては、利益剰余金の増加などにより、前連結会計年度末に比べ16億円増加の1,005億円となりました。

なお、自己資本比率は59.5%となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

通期の連結業績予想につきましては、2025年8月4日に公表した業績予想を変更しておりません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

		(単位:百万円)
	前連結会計年度 (2024年12月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2025年9月30日)
資産の部		
固定資産		
有形固定資産		
製造設備	1, 680	1, 474
供給設備	51, 054	49, 358
業務設備	14, 292	13, 751
その他の設備	14, 313	19, 133
建設仮勘定	4, 209	2, 127
有形固定資産合計	85, 551	85, 845
無形固定資産		
その他無形固定資産	4, 370	4, 918
無形固定資産合計	4, 370	4, 918
投資その他の資産		
投資有価証券	31, 078	30, 361
退職給付に係る資産	332	460
その他投資	11, 151	10, 366
貸倒引当金		△1
投資その他の資産合計	42, 561	41, 187
固定資産合計	132, 482	131, 951
流動資産		
現金及び預金	20, 138	17, 263
受取手形、売掛金及び契約資産	12, 002	10, 760
商品及び製品	54	62
仕掛品	1, 126	1,099
原材料及び貯蔵品	701	755
その他流動資産	1, 784	1, 214
貸倒引当金	△38	△31
流動資産合計	35, 768	31, 124
資産合計	168, 250	163, 076

10011			_		١
(単化	17	r	\vdash	Щ	п
(1/.	\Box	/_/		1

	前連結会計年度 (2024年12月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2025年9月30日)
負債の部		
固定負債		
社債	736	703
長期借入金	23, 889	21, 624
役員退職慰労引当金	68	66
ガスホルダー修繕引当金	387	447
器具保証引当金	523	428
退職給付に係る負債	368	357
その他固定負債	17, 282	17, 254
固定負債合計	43, 256	40, 883
流動負債		
1年以内に期限到来の固定負債	3, 887	3, 539
支払手形及び買掛金	8, 486	4, 992
未払法人税等	323	954
ポイント引当金	19	18
その他流動負債	13, 401	12, 165
流動負債合計	26, 118	21, 670
負債合計	69, 374	62, 551
純資産の部		
株主資本		
資本金	2, 754	2, 754
資本剰余金	36	36
利益剰余金	79, 659	82, 393
自己株式	△272	$\triangle 272$
株主資本合計	82, 178	84, 91
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	11, 640	10, 928
退職給付に係る調整累計額	1,803	1, 265
その他の包括利益累計額合計	13, 444	12, 193
非支配株主持分	3, 253	3, 418
純資産合計	98, 876	100, 524
負債純資産合計	168, 250	163, 076

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第3四半期連結累計期間

	(単位:百万円			
	前第3四半期連結累計期間 (自 2024年1月1日	当第3四半期連結累計期間 (自 2025年1月1日		
	至 2024年 9 月 30 日)	至 2025年9月30日)		
売上高	88, 526	89, 879		
売上原価	60, 833	60, 050		
売上総利益	27, 693	29, 829		
供給販売費及び一般管理費	25, 237	25, 359		
営業利益	2, 456	4, 470		
営業外収益				
受取利息	185	225		
受取配当金	277	329		
持分法による投資利益	185	144		
雑収入	167	202		
営業外収益合計	817	901		
営業外費用				
支払利息	171	215		
投資事業組合運用損	165	175		
雑支出	41	27		
営業外費用合計	378	418		
経常利益	2, 895	4, 953		
税金等調整前四半期純利益	2, 895	4, 953		
法人税等	819	1, 243		
四半期純利益	2, 076	3, 709		
非支配株主に帰属する四半期純利益	122	170		
親会社株主に帰属する四半期純利益	1, 953	3, 539		

四半期連結包括利益計算書 第3四半期連結累計期間

		<u> (単位:百万円)</u>
	前第3四半期連結累計期間 (自 2024年1月1日 至 2024年9月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2025年1月1日 至 2025年9月30日)
四半期純利益	2, 076	3, 709
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	3, 120	△727
退職給付に係る調整額	△571	△538
持分法適用会社に対する持分相当額	20	20
その他の包括利益合計	2, 569	△1, 245
四半期包括利益	4, 645	2, 464
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	4, 518	2, 289
非支配株主に係る四半期包括利益	127	174

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(会計方針の変更)

「法人税、住民税及び事業税等に関する会計基準」等の適用

「法人税、住民税及び事業税等に関する会計基準」(企業会計基準第27号2022年10月28日。以下「2022年改正会計基準」という。)等を第1四半期連結会計期間の期首から適用しております。

法人税等の計上区分(その他の包括利益に対する課税)に関する改正については、2022年改正会計基準第20-3項ただし書きに定める経過的な取扱い及び「税効果会計に係る会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第28号2022年10月28日。以下「2022年改正適用指針」という。)第65-2項(2)ただし書きに定める経過的な取扱いに従っております。なお、当該会計方針の変更による四半期連結財務諸表への影響はありません。

また、連結会社間における子会社株式等の売却に伴い生じた売却損益を税務上繰り延べる場合の連結財務諸表における取扱いの見直しに関連する改正については、2022年改正適用指針を第1四半期連結会計期間の期首から適用しております。当該会計方針の変更は、遡及適用され、前年四半期及び前連結会計年度については遡及適用後の四半期連結財務諸表及び連結財務諸表となっております。なお、当該会計方針の変更による前年四半期の四半期連結財務諸表及び前連結会計年度の連結財務諸表への影響はありません。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

(税金費用の計算)

税金費用につきましては、当第3四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果 会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。 (セグメント情報等の注記)

【セグメント情報】

- I 前第3四半期連結累計期間(自 2024年1月1日 至 2024年9月30日)
 - 1 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント		合計	調整額	四半期連結 損益計算書	
	エネルギー	ライフ サービス	リアル エステート	一百百	(注) 1	計上額 (注) 2
売上高						
外部顧客への売上高	81, 946	5, 455	1, 124	88, 526	_	88, 526
セグメント間の内部 売上高又は振替高	_	_	192	192	△192	_
計	81, 946	5, 455	1, 317	88, 719	△192	88, 526
セグメント利益	3, 738	592	772	5, 103	△2, 646	2, 456

- (注) 1 セグメント利益の調整額△2,646百万円には、セグメント間取引消去38百万円及び各報告セグメントに配分していない全社費用△2,685百万円が含まれている。全社費用は、報告セグメントに帰属しない一般管理費である。
 - 2 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っている。
- Ⅱ 当第3四半期連結累計期間(自 2025年1月1日 至 2025年9月30日)
 - 1 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント		合計	調整額	四半期連結 損益計算書	
	エネルギー	ライフ サービス	リアル エステート	百亩	(注) 1	計上額 (注) 2
売上高						
外部顧客への売上高	83, 722	4, 784	1, 373	89, 879	_	89, 879
セグメント間の内部 売上高又は振替高	_	_	199	199	△199	_
計	83, 722	4, 784	1, 573	90, 079	△199	89, 879
セグメント利益	6, 049	480	617	7, 147	$\triangle 2,677$	4, 470

- (注) 1 セグメント利益の調整額 \triangle 2,677百万円には、セグメント間取引消去36百万円及び各報告セグメントに配分していない全社費用 \triangle 2,714百万円が含まれている。全社費用は、報告セグメントに帰属しない一般管理費である。
 - 2 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っている。

2 報告セグメントの変更等に関する事項

当社は、取り巻く環境変化に対応し、地域社会の持続的な発展とお客さまの豊かな暮らしの実現に貢献するため、2024年11月に「中期経営計画2025-2027」を策定し、「エネルギー」、「ライフサービス」、「リアルエステート」の3つの事業領域において新しい価値を提供し持続的な企業成長を実現することを目標としました。これに伴い、従来「ガス」、「電力小売」、「不動産」を報告セグメントとしておりましたが、第1四半期連結会計期間より「エネルギー」、「ライフサービス」、「リアルエステート」を報告セグメントとすることといたしました。

なお、前第3四半期連結累計期間のセグメント情報については、変更後の区分により作成したものを記載しております。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) 該当事項はありません。

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(キャッシュ・フロー計算書に関する注記)

当第3四半期連結累計期間に係る四半期連結キャッシュ・フロー計算書は作成しておりません。なお、第3四半期連結累計期間に係る減価償却費(のれんを除く無形固定資産に係る償却費を含む。)は、次のとおりであります。

前第3四半期連結累計期間 (自 2024年1月1日 至 2024年9月30日) 当第3四半期連結累計期間 (自 2025年1月1日

(自 2025年1月1日 至 2025年9月30日)

減価償却費 7,878百万円 7,757百万円

(表示方法の変更)

(四半期連結損益計算書)

従来、一部の不動産賃貸収入及び不動産賃貸費用については「営業外収益」及び「供給販売費及び一般管理費」に含めて表示していましたが、第1四半期連結会計期間より、「売上高」及び「売上原価」に表示する方法に変更いたしました。

これは、当社が2024年11月に策定した「中期経営計画2025-2027」において、主要な事業領域の一つとして「リアルエステート」領域を定め、不動産事業の拡大を重点課題に掲げたことに伴い、当社グループの営業活動の成果をより適切に表示するために行ったものであります。

この表示方法の変更を反映させるため、前第3四半期連結累計期間の四半期連結財務諸表の組替えを行っております。この結果、前第3四半期連結累計期間の四半期連結損益計算書において「営業外収益」の「受取賃貸料」に表示していた72百万円は「売上高」に、「供給販売費及び一般管理費」に表示していた22百万円は「売上原価」に組替えております。これにより、前第3四半期連結累計期間の「売上高」、「営業利益」が72百万円増加しております。

また、前第3四半期連結累計期間において独立掲記していた「営業外収益」の「受取賃貸料」のうち17百万円は重要性が乏しくなったため、当第3四半期連結累計期間は「雑収入」に含めて表示しております。